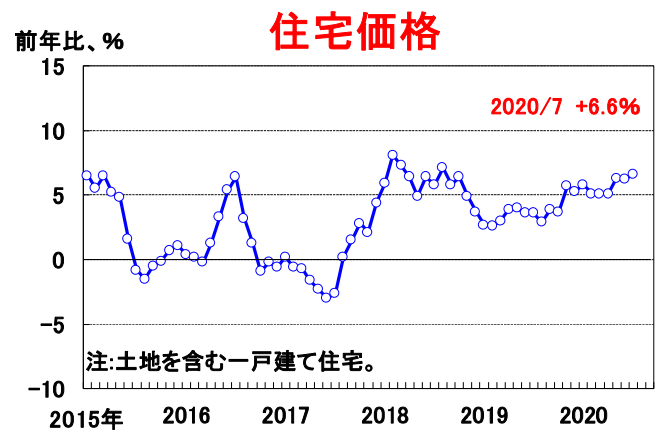
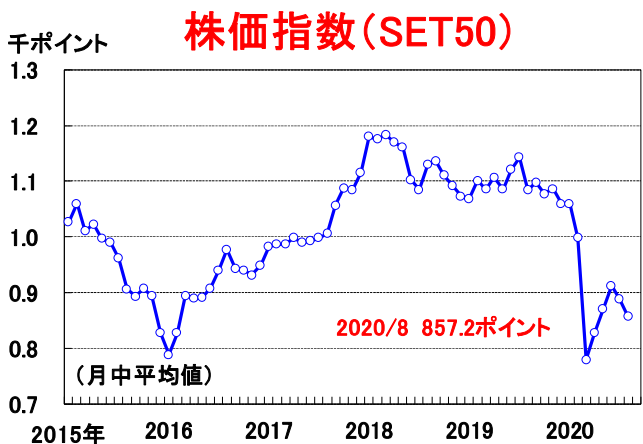
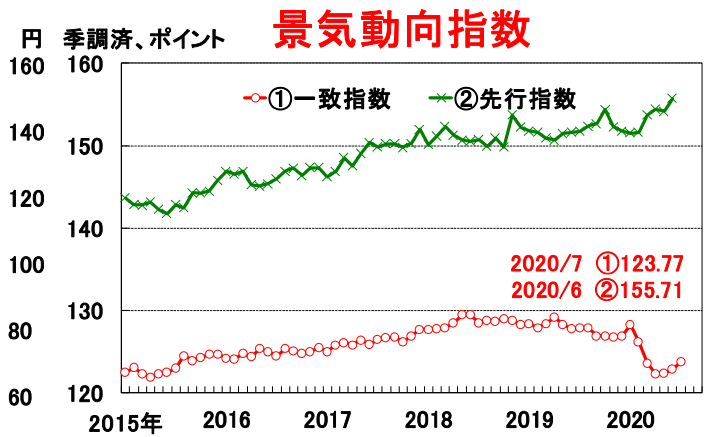
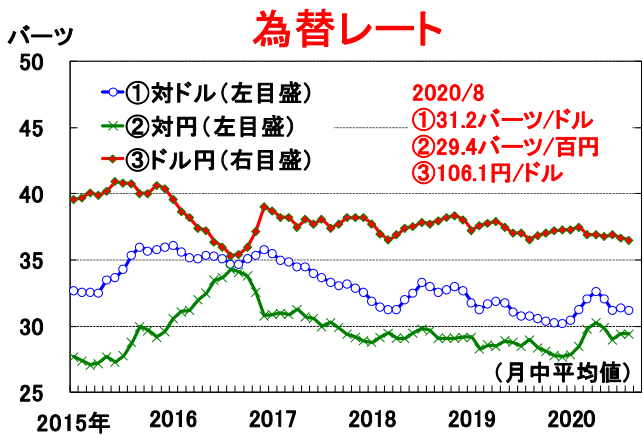
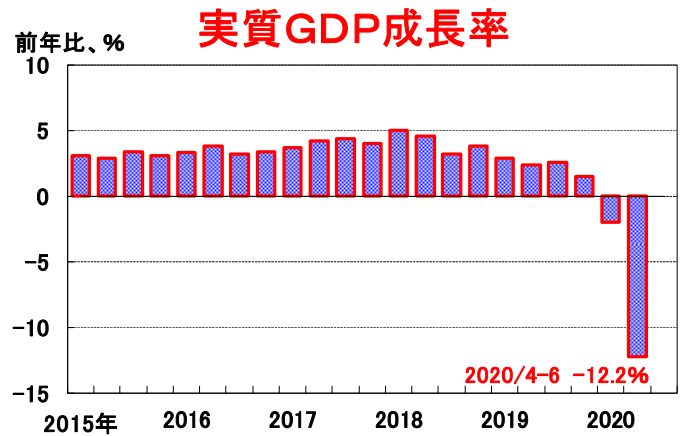
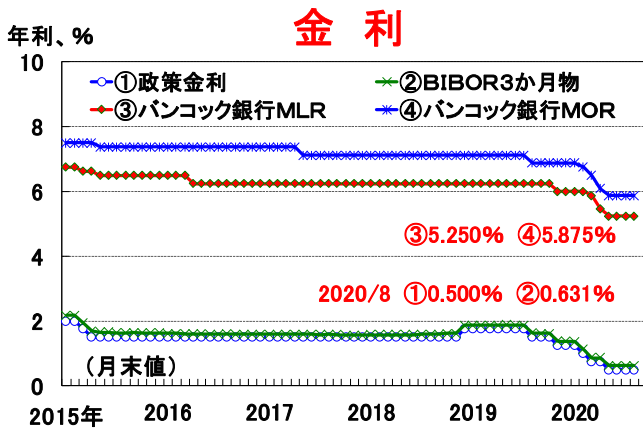
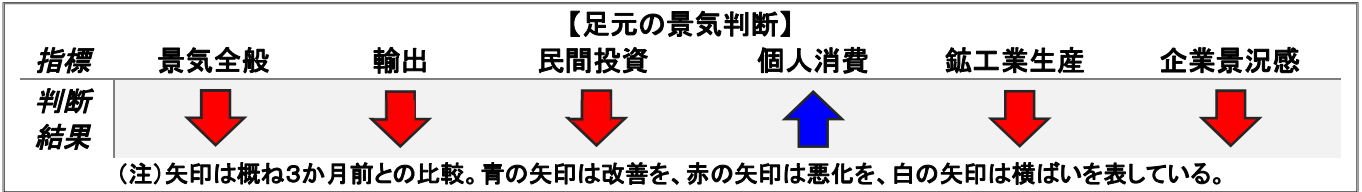


グラフで見るタイ経済 2020年9月号(No. 135)

20年4~6月期のタイの実質GDP(国内総生産)は前年比-12.2%(前期は同-2.0%)と、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内外の景気悪化により、1998年のアジア通貨危機以来の大幅なマイナス成長となった。内訳をみると、政府支出が同+1.4%と3期ぶりに増加したものの、輸出は同-28.3%と急速に減少し、総固定資本形成も同-8.0%と大きく落ち込んだ。ただ、直近の月次指標は、景気が一部で改善していることを示唆している。7月の個人消費指数が132.7と新型コロナ流行前の水準を下回ったものの、3か月連続で上昇した。

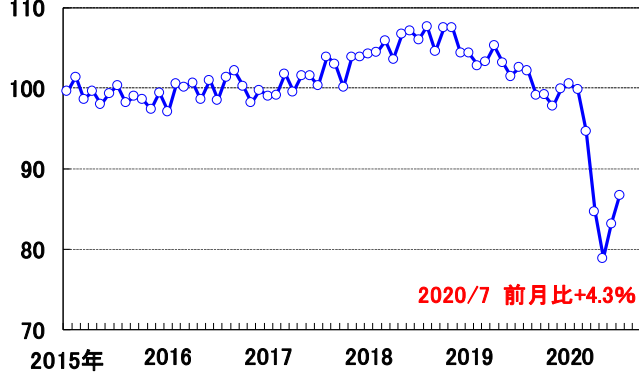


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

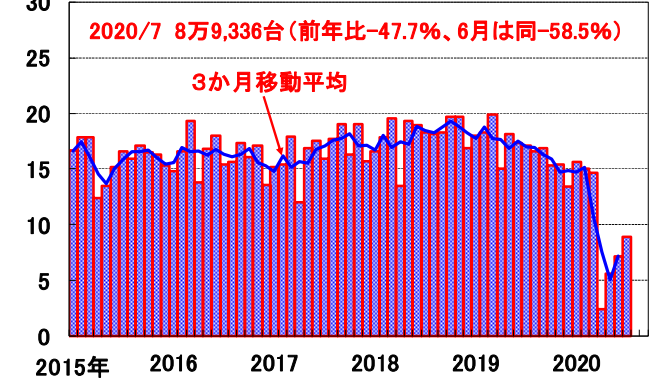
季調済
2016年=100

工業生産指数



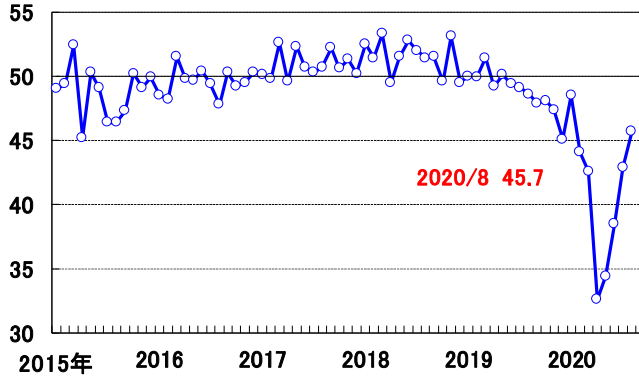
万台

自動車生産台数



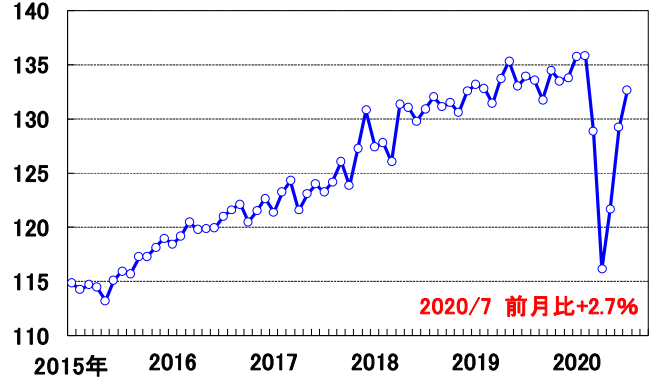
中立水準=50

企業景況指数(BSI)



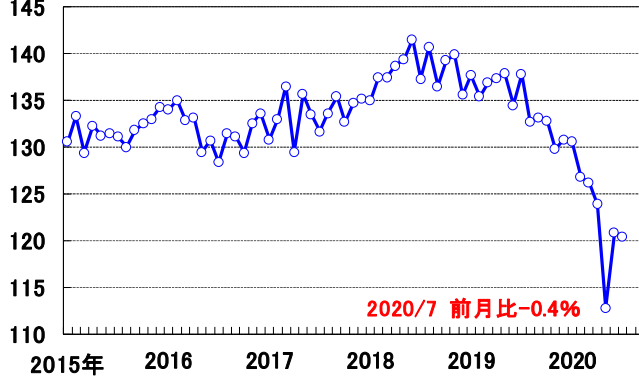
季調済
2010年=100

個人消費指数



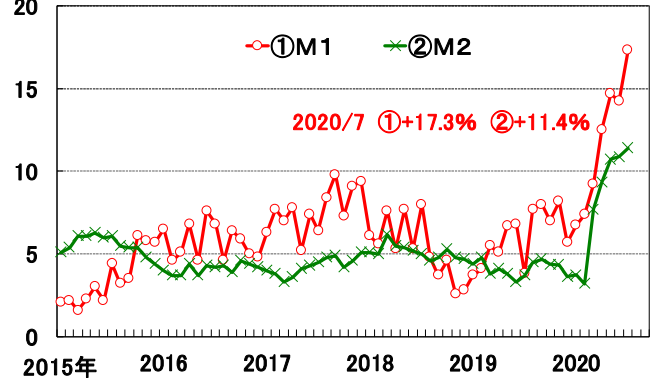
季調済
2010年=100

民間投資指数



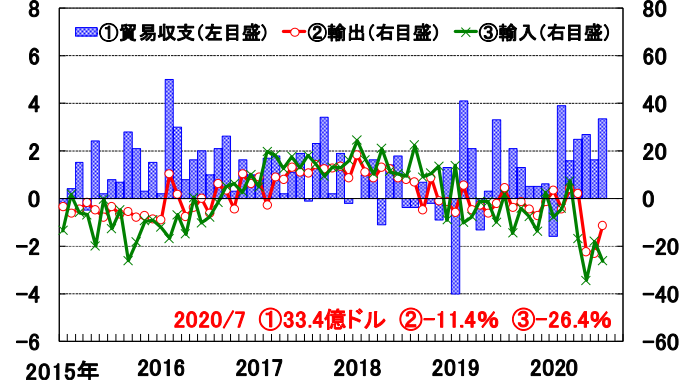
前年比、%

マネーサプライ



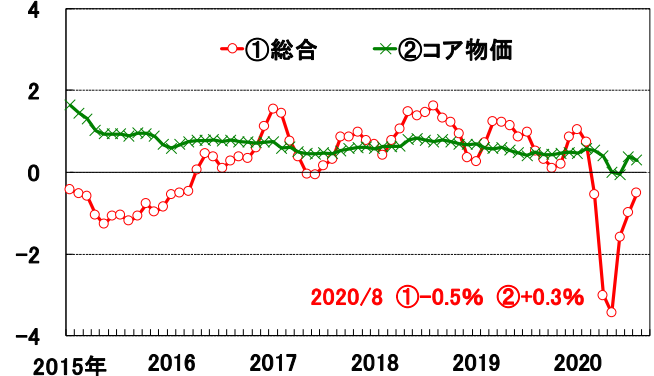
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。